



みんなで『いじめ』を考える。

『いじめ』については、子供たちはもちろん、保護者の皆さんにとっても非常に気になる問題でしょう。

『いじめ防止対策推進法 第2条第1項』で、「『いじめ』とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。」と定義されています。

「心身の苦痛を感じている」とは、いじめを受けた本人が「いやだ」「つらい」「苦しい」などと感じることであり、本人がそう感じたら「いじめ」になるということです。たとえ、いじめている側にいじめている意識がなくても、遊んでいるつもりでも、相手が「いやだ」と感じれば『いじめ』になるということです。学校では、子供たちの様子や、子供たちからの報告や相談によって「いじめ」の状況と捉えるとすぐに対応しています。

いじめは、「どの子供にも、どの学校でも、起こりうるものである。」（文部科学大臣決定「いじめの防止等のための基本的な方針」）と考えられています。「必ずある」と考えて早期発見と迅速な解決が求められるため、ここ数年いじめの認知件数は一気に増えています。本校では、日常の子供たちの観察はもとより、定期的に先生たちが学年ブロックごとにチェック表（次ページ）を使って子供たちの生活を振り返り、いじめが起きていないか、いじめにつながるような様子がなかったかを話し合っていて、他の学年のことで報告し合うようにしています。それでも、学校生活のすべてにおいて子供たちの様子を把握するのは難しいので、2か月に1度は子供へのアンケートも行っています。しかし、アンケートを取った直後に起きているかもしれないと考え、お家の方からの情報がとても大事です。お子さんの様子で気になることは必ず連絡をください。子供たちが「いやだ」「つらい」と思うことを早く見付けて解決することが大切です。

みんなが楽しい学校生活を送り、いじめのない学校にするためには、子供に「いじめをしない、許さない」という気持ちを育てることが大切です。法律で禁止されているということ、大人も国（社会）もそろって「ダメ!」としているということを理解させる必要もあるでしょう。

学校では、道徳や特別活動、学校生活のすべてを通じて、互いに認め合う集団作り、豊かな人間関係作り、絆づくり、居場所づくり、自己有用感の育成などを行い、心を育てる取組を進めています。そして何より、子供たち、家庭、学校、みんなでいじめについて考えを深めることが大切だと考えています。

本校でも、『学校いじめ防止基本方針』を作成し『本郷小いじめ防止対策委員会』が組織されています。HPもご覧ください。

以上のようなことから、今年は学校全体でいじめについて考える機会を作りました。

いじめ防止集会

保護者の皆さんもぜひ参加を！

9月27日（金）10：20～11：05 中間休み～3校時
体育館に全校児童が集まって行います。

事前に各学級で、いじめについて理解を深める学習をします。
その上で「いじめをなくすためにどうするか？」を話し合います。
そこから『学級のいじめ防止スローガン』を考え、ここで発表して、学校全体でいじめを予防する雰囲気高める機会とします。

保護者の皆さんもぜひ参加してください。

10：15までに体育館へいらしてください。

事前の申し込みは、いりません。



家族でお月見できたかな？

いじめ早期発見のためのチェックリスト

～先生方へ～

このシートは、各先生方が、いじめの兆候に早く気づけるように学級集団をチェックするリストです。気になる項目にあてはまる児童生徒が学級にいた場合には、名前を書き入れ、その児童生徒の様子を慎重に観察してください。

場 面	観察の観点	あてはまる子がある	
		チェック	名 前
始業前	・遅刻、欠席、早退が多くなる。		
	・登校してから、身体の不調を訴えることが増える。		
授業中	・学習意欲が低下したり、忘れ物が増えたりする。		
	・グループ学習の時に、机を離されたり、避けられたりする。		
	・発言に対し、冷やかしかからかいが多い。		
	・保健室によく行くようになる。		
休み時間 ・昼休み	・1人で過ごすことが多い。		
	・職員室に用もなく、意図的に用事をつくって、よく来るようになる。		
	・他の学級担任の先生や養護の先生へのかかわりを求めにくる。		
	・遊びの中で、いつも同じ役をしている（させられている）。		
給食時間	・給食のおかずの意図的な配り忘れや不平等な配膳をされる。		
	・特定の子が配膳するといやがられる。		
	・嫌がる仕事をよく任されている。		
清掃時間	・1人みんなと離れて掃除をやらされていることがある。		
	・みんなが嫌がる分担を行っている。		
放課後・部活動	・急いで1人で帰宅する。		
	・部活動を休みがちになる。		
	・部活動の話題を避けるようになる。		
その他	・グループ分けなどでなかなか、所属が決まらない。		
	・持ち物や掲示物に落書きされる。		

※ 教科担任制の場合には、授業の様子をよく観察し、教職員間で情報をつなぐなど、チェックに
もれないように十分配慮してください。